

(有)濱田工務店

料金後納
郵便

ゆうメール

はまちゃん新聞 12月

Merry Christmas

12月ですね。今年のカレンダーも残り1枚となりましたが、年末といった感覚がなかなか湧かなくて、スーパーに並んだ正月飾りやお年玉のポチ袋を見て実感しています。ポチ袋の「ポチ」は関西弁の「ぼちっと」、関東弁の「これっぽち」が由来のようで、「これっぽちですがどうぞ」という謙虚な気持ちが込められているそうですよ(^◇^)

※12月イベント・行事※

- 12/1 (金) 映画の日
- 12/7 (木) 大雪
- 12/12 (火) 漢字の日
- 12/13 (水) 正月事始め
- 12/22 (金) 冬至
- 12/23 (土) 上皇陛下のお誕生日
- 12/25 (月) クリスマス
- 12/31 (日) 大晦日

※今年の漢字(発表は12/12頃)※

「今年の漢字」は平成7年(1995年)に日本漢字能力検定協会が漢字の素晴らしさや奥深い意義を伝えるための啓発活動の一環として始まりました。毎年、その年の世相を表わす漢字一文字を全国から募集し、応募数の多かった漢字上位20位までを12月12日(いい字一字)の「漢字の日」に発表しています。応募数が最も多かった第1位は京都・清水寺の森清範(もりせいはん)貫主(かんす)※1の揮毫(きごう)※2により発表されます。その後、一年の出来事を清めるとともに新年が明るい年になることを願い、奉納の儀式を行います。では、なぜ清水寺で発表されるかということ、主催者である(公財)日本漢字能力検定協会の本部が京都にあること、日本を代表する寺院の一つであり、国内外の方に認知度が高いことや、森清範貫主が以前この協会の理事を務めていたことなどが理由のようです。今年一年を振り返って、みなさんの「今年の漢字」は何でしょうか(^ω^)?

※1 その寺のトップ ※2 毛筆で文字を書くこと、絵を描くこと

今月の花



イチゴノキ(ストロベリーツリー)

花言葉・・・あなただけを愛します・節約
由来・・・地中海沿岸からアイルランドまでのヨーロッパが原産地で、カリフォルニア州や北アメリカ西海岸地方では一般的な庭木とです。日本ではあまり馴染みのない樹木でしたが、近年小型の園芸品種を中心に花や実を鑑賞する庭木として園芸店にも出回るようになりました。若い苗は寒さに弱いです、成木になると-10℃でも生育可能。ツツジ科植物では珍しく、アルカリ性の土壌でも生育し、耐塩性があるため海岸沿いでも栽培できます。花はドウダンツツジによく似たベル型で、白色やピンク、赤っぽい色もあります。果実はイチゴというよりヤマモモに似ていて、開花後にできた実は翌年の秋まで1年かけてゆっくり大きくなります。最初は緑色で秋になると黄色→オレンジ色→赤色と熟し、黒色になって実を落とします。実は食べられますが、ほんのり甘いくらいでほとんど味がしないようで、ジャムか果実酒にするのがおすすめ。花と実が同時に見られるとても珍しい花木です。

みかんを揉むと甘くなる?

みかんの美味しい季節になりました。皆さんはどんなみかんが好きですか?酸味のあるもの、甘さと酸味のバランスがよいもの、甘味の強いものなど最近では色々な品種があり、スーパーなどでは値段の横に糖度が表示してあったりするので買うときに分かりやすいですね。私は甘さ重視なので糖度の高いものを選びますが、頂き物などたまにすっぱいみかんがあると皮の上から揉んで甘くしています。揉むと甘くなる理由は、揉むことで細胞が傷つき、その傷を修復するためにクエン酸を消費するといわれていて、酸味成分であるクエン酸が減るため、食べた時に甘く感じるのだそう。ただ、必要以上に揉むと鮮度が失われ食感が悪くなってしまいます。そんな時はみかん農家さんの裏技。40度くらいのお湯の中に10~20分置いて少し温め、お湯から出したら半日から1日置いておくと、傷まらずに酸味が抜けて甘くなるそう。ちょっと時間はかかりますが酸っぱいと思われたら試してみてください。とはいえ、なるべくなら美味しいみかんを選びたいですね。美味しいみかんは、①皮の色が濃い ②皮のきめが細かく手触りがツルツル ③重量感がある ④ヘタの部分を見て、軸が小さい ⑤サイズが小さいのが特徴です。みかんは、小さければ小さいほど味のはずれが少ないそうなので、迷ったときは小さいサイズ、食べ応えやジューシーさを味わいたい時は大きなサイズを選ぶとよいですね。ぜひ、参考にしてみてください~♪

今月のレシピ 「トマト缶で簡単♪冬野菜たっぷりトマトシチュー」

【材料:4人分】

- ・レンコン 各300g
 - ・大根 (正味) 各300g
 - ・さつまいも 各300g
 - ・玉ねぎ 150g(正味)
 - ・しめじ 1房
 - ・鶏もも肉 300g
 - ・薄力粉 適量
 - ・塩 //
 - ・コショウ //
 - ・サラダ油 大さじ1
 - ・刻みパセリ 適量
- A {
- ・水 100mL
 - ・カットトマト缶 400g
 - ・ローリエ 1枚(あれば)
- B {
- ・牛乳 200mL
 - ・砂糖 大さじ2
 - ・塩、コショウ 適量

【作り方】

- ①鶏もも肉は一口大に切り、塩・コショウをして薄力粉をまぶす。玉ねぎは薄切りにしめじは根元を切り落として小房に分ける。レンコン、大根、さつまいもは1cm程度の角切りにする。
- ②フライパンにサラダ油をひいて、鶏もも肉の表面を強火で焼きます。鶏もも肉は一旦取り出し、カットした野菜をすべて加えて炒めます。
- ③②にAと先ほど取り出しておいた鶏もも肉を加えて中火で煮込みます。
- ④全てに火が通ったらBを加えて加熱して仕上げます。器に盛り付け、刻みパセリをふったら出来上がり。



Shimanto miyachan
四万十にお住まいの「みやちゃん」さんの素敵なお料理ブログからレシピをご紹介します。四万十住人の簡単料理ブログ <http://shimanto-miyachan.blog.jp/>

Instagram やってます。

Follow Me!
@hamahome2021

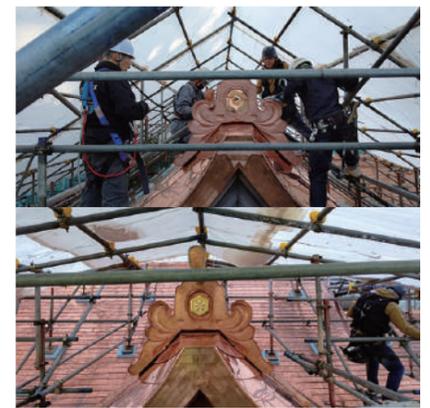


建築中の家の事や
日々の出来事など
語りまします

2023年
11月16日
木曜日

濱田工務店の facebook

好天に恵まれて神社様の鬼木を取り付けに行ってきました。この建物は明治時代に建てられた建物だそうです。色々問題を抱える建物だったようですが、今回の改修工事ではほとんど解消したようです。大きな銅板屋根の張り替え工事と、其れに伴った補修工事でした。鬼木の仕上げ工事に銅板をなまし、鬼木の彫刻に打ち込む作業が完了し、取り付けにきました。此の屋根の銅板工事は現在の若い技術者が努力し張り上げた物です。現在の技術を集結した屋根工事でした。



なるべく毎日更新中! <http://hama-home.jp/wp/>

2023年12月 建築吉日カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1 仏滅 映画の日	2 大安
3 赤口 建築吉日(なる)	4 先勝	5 友引 建築吉日(ひらく)	6 先負	7 仏滅 大雪	8 大安 建築吉日(たつ)	9 赤口
10 先勝	11 友引 建築吉日(たいら)	12 先負 漢字の日 建築吉日(さだん)	13 大安 正月事始め	14 赤口	15 先勝	16 友引 建築吉日(なる)
17 先負	18 仏滅 建築吉日(ひらく)	19 大安	20 赤口 建築吉日(たつ)	21 先勝	22 友引 冬至	23 先負 上皇陛下 お誕生日 建築吉日(たいら)
24 仏滅 建築吉日(さだん)	25 大安 クリスマス	26 赤口	27 先勝	28 友引 建築吉日(なる)	29 先負	30 仏滅 建築吉日(ひらく)
31 大安 大晦日						

※祝日は法律の改正により変更になる場合があります。

地鎮祭や上棟式、お引越しのスケジュール立てに参考までに「活用下さい。」

『たつ』 開店、移転、柱立て、棟上げ、新規事の開始など、すべてに大吉。

『みつ』 建築、移転、開店、祝い事、すべて吉。

『たいら』 地固め、柱立て、祝い事、すべて円満。

『さだん』 建築、移転、開店、新規事の開始などすべて吉。

『なる』 新規事の開始は吉。

『ひらく』 建築、移転、開店、すべて吉。

クリスマス飾り

クリスマスが近づくと、あちらこちらでツリーやリースなどが飾られ赤・緑・白のクリスマスカラーで彩られます。クリスマスツリーやオーナメントにはどんな由来があるのでしょうか？由来や意味を知るとクリスマスがもっと楽しくなりそうです(*^▽^*)

クリスマスツリーの由来

クリスマスツリーの起源は諸説ありますが、北ヨーロッパに住んでいた古代ゲルマン民族の樹木信仰とユールと呼ばれる冬至のお祭りにあると言われているのが有力な説のようです。ゲルマン民族はユールの際に樅の木を祭祀に用いて崇める対象としていました。樅の木は冬でも青々と葉を茂らせる常緑樹で生命力の象徴と考えられていました。このお祭りは、あらかじめ伐採しておいた樅の木の丸太を冬至の夜に燃やし、豊穣を祈るというもので、一年で最も太陽の勢いが衰える冬至に生命力の象徴である樅の木を燃やすことで力の弱くなった太陽を助けるという意味があったそう。樅の木がモミの木に変わったのは、キリスト教を国教とするローマ帝国がキリスト教以外の宗教を認めなかったため、ゲルマン民族を改宗させる方法としてキリスト教の基本となる「三位一体」※1の教えを説き、これを象徴する三角形の形をしたモミの木が広まり、土着信仰の行事「ユール」とキリスト教が融合していった結果、樅の木からモミの木に変わっていったようです。現在のようにツリーに装飾をするようになったのは、15世紀頃。現在のドイツ南部に位置するフライブルグで、救貧院※2に飾られたモミの木に町のパン職人がフルーツやナッツ、焼き菓子を飾ったのが最初という説や、16世紀に宗教改革で有名なマルティン・ルターがクリスマスイブの礼拝の帰りに見た、常緑樹の葉の間からのぞく無数にきらめく星の美しさに心を打たれ、星に見立てたロウソクを灯した木を飾ったのが始まりという説もあり、イルミネーションの由来でもあるそう。日本で最初にクリスマスツリーが飾られたのは江戸時代末期の1860年、現在のドイツ北東部にあったプロイセン王国の外交官オイルレンブルク氏が天井に届くほどの豪華なツリーを飾ったのが最初で、明治19年(1886年)に明治屋の創業者である磯野計(いそのはかる)氏が横浜に滞在していた外国人の船員のためにツリーを飾ったのが日本人で初めてになるそう。そして、明治33年(1900年)横浜からに東京・銀座に移転してからも毎年クリスマスの飾り付けを行ったことで、徐々に民間にも浸透していきました。

※1 父(神)子(キリスト)精霊の3つ存在が一つの神を成しているというキリスト教の教理 ※2 貧困者を救済するために設けられた施設

クリスマスカラーの意味

赤・緑・白の3色にはそれぞれに意味があります。「赤」は、人々の罪を背負い十字架にかけられたイエス・キリストが流した血を表わしていて、キリスト教のシンボルカラーでもあります。それから神の深い愛を表わしています。キリスト教と縁の深いリンゴの色でもありますね。「緑」は、一年中葉を枯らすことのない常緑樹の色で、永遠の命や強い生命力を表わしています。「白」は、純潔さや清らかな心を表わし、クリスマスに降る雪のイメージもあります。クリスマスの花とされるポインセチアは、葉の色が赤や緑で樹液が白色のクリスマスカラーで、真上から見ると「ベツレヘムの星(キリストの生誕を知らせるために天に出た星)」を連想させます。また、原産国のメキシコでは、ポインセチアを「ノーチェ・ブエナ」と呼ぶそうで、「聖夜」という意味があるそう。

クリスマス飾りの意味と由来

トッパー

イエスキリストの誕生を東方の賢者達に知らせた「希望の星(ベツレヘムの星)」が由来。

キャンディケーン

羊飼いが迷える羊を導く杖。キリストが人々を救いへと導くこと象徴。

松ぼっくり

聖母マリアと婚約者のヨゼフがモミの木の陰に隠れて難を逃れたお話が由来。入手困難なモミの実の代用として松ぼっくりが使われるように。

ベル

イエスキリストの誕生を人々に知らせる「喜びの音を鳴らすベル」という意味があり、魔除けの効果もあります。

イルミネーション

この世を照らす光を表わしていて、イエスキリストの象徴。

靴下

聖ニコラウスが貧しい一家を助ける為、窓から金貨を投げ入れたところ暖炉に吊るしてあった靴下に偶然入ったという、サンタクロースのモデルになった話が由来。



リース

輪になっていることで始まりも終わりもない永遠を表わしています。リースに結んだリボンが、「永遠の絆で結ばれますように」という願いが込められています。

ジンジャークッキー

イギリスのヘンリー8世が病氣予防に生姜を食べることを推奨したのが起源。国王に似せた人形のジンジャークッキーが作られ、無病御息災を願って飾られるように。

鳩

キジバトは遠くに行っても巣に戻る習性があり、一生つがいで暮らすことから、平和の象徴。

天使

聖母マリアがイエスキリストを身ごもったことを知らせた天使「ガブリエル」を象徴しています。

オーナメントボール

アダムとイヴが口にした禁断の果実(リンゴ)を表わしています。幸福・豊かな実りの願いが込められています。

大雪 (たいせつ)

12月7日頃



シベリア寒気団が到来し、日本海側には降雪をもたらす、太平洋側では乾燥した冷たい空気が吹き荒れます。この頃の厳しい寒さを「冬将軍」と呼びます。

閉塞成冬 そらさむくふゆとなる 12/7 ~ 12/11頃

空が閉ざされ本格的な冬になるという意味で、重たい冬の雲が空をふさいでいるかのようです。

熊蟄穴 くまあなにもこもる 12/12 ~ 11/16頃

熊が穴に入って冬ごもりを始める頃。冬ごもりの間は何も食べずに過ごすので、秋の間に食いだめをしておきます。

鱈魚群 さけのうおむらがる 17/17 ~ 11/21頃

鮭は、川で生まれ、海を回遊し、冬に産卵のため故郷の川に戻ります。上流を目指し遡上する鮭の群れはとても神秘的です。

冬至 (とうじ)

12月22日頃



地球の回転軸の傾きにより、一年を通して最も夜が長く、昼が短い日です。古くより冬至の日に柚子湯に入り無病息災を祈願する習慣があります。

乃東生 なつかれくさしょうず 12/22 ~ 1/26頃

草木が枯れた中、ウツボグサだけが芽を出しはじめる頃。ウツボグサは漢方薬として夏枯草(かごそう)と呼ばれています。

麋角解 さわしかのつのおる 12/27 ~ 12/31頃

「麋」は大型の鹿の一種、ヘラジカまたはオオジカのことだと言われています。

雪下出麦 ゆきわたりてむぎのびる 1/1 ~ 1/5頃

秋に蒔かれた麦が雪の下で芽を出す頃。寒い中でも、生命力を育み、時期が来ると一気に芽吹きます。

大晦日

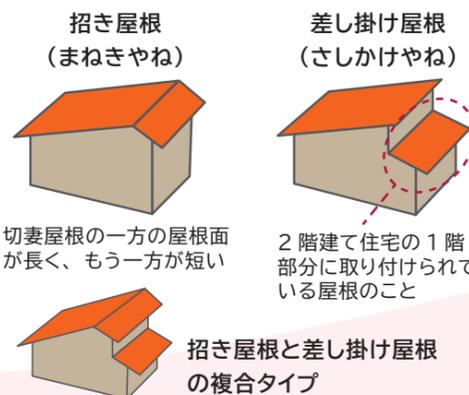
大晦日(おおみそか)とは、1年の最終日である12月31日のことです。大晦日と呼ばれるようになったのは、月の満ち欠けによって月日を数える旧暦が関係しています。旧暦では、新月を1日とし、月が隠れる「晦(つごもり)」の頃がおおよそ30日であったことから、30日を晦日(みそか)と呼びました。ところが新暦になると、ひと月が29日までだったり31日まであったりその月によって違いが出るようになったため、月の最終日(月末)を晦日と呼ぶようになりました。中でも1年の締めくくりであり、新年との節目である12月の晦日は特別な日とされ、頭に大を付けて「大晦日」と呼んでいます。大晦日の歴史は、平安時代からはじまったといわれていて、大晦日は正月に迎え入れる「歳神様(としがみさま)」を祀るための準備の日だったそうです。歳神様とは、稲の豊作をもたらしてくれる神様のことで、農作物が豊かに実り、食べるものに不自由なく暮らせるようにと、昔から大切に扱われてきた神様です。また、歳神様は各家庭にやってくることから、大晦日から家にももって眠らずに夜通し祈願する「年籠り(としごもり)」をするのが一般的で、これが大晦日の風習の由来と言われています。時代の流れと共に年籠りの風習は形が変わり、元日に行われていたお参りが残って、現在の「初詣」につながっているそう。また、門松や鏡餅、注連縄(しめなわ)を飾るのも歳神様をお迎えするために行われていたものです。大晦日の風物詩といえば「除夜の鐘」ですね。「除夜」とは、「除日の夜」のことで、「除」には古いものを捨てて新しいものを迎えるという意味があります。そのため、「除日の夜」は大晦日のことを指し、多くの寺院では大晦日の夜から新年にかけて108回の鐘をならします。なぜ108回なのかというと、諸説あるようですが、一般的なのは人間の悩みや苦しみの原因となる煩惱の数が108個あり、除夜の鐘を108回ならすことですべての煩惱を祓い、清らかな心で新年を迎えられると考えられているからだそう。本来なら煩惱を祓って悟りを開くためには厳しい修行が必要ですが、大晦日に除夜の鐘を鳴らすことにより、修行を積んでいない一般の方でもその鐘の音によって煩惱や穢れ、苦しみなどを取り去ることができると言われています。除夜の鐘の澄んだ音色をじっくり聞きながら、今年一年を振り返ってみるのもよいですね。

住宅建築まめ知識

今回のテーマは **屋根の形 招き(まねき)屋根**

今回のテーマは **入母屋(いりもや)屋根**です。

屋根の形には色々な種類があります。外観のイメージに合わせて選ぶことも大事ですが、メンテナンスの手間や太陽光発電システムの設置、落雪対策なども考えて最適な形を選びます。今号からは、それぞれの特徴やメリット・デメリットをお伝えします。



- メリット**
 - ・強風や突風に強い
 - ・屋根と屋根の間に壁をつくることができ、採光窓を取り付け可能
 - ・屋根裏の断熱性、通気性に優れている
 - ・太陽光パネルの設置するのに適した角度を確保しやすい
 - ・屋根裏の空間を広く確保できる
- デメリット**
 - ・デメリットは少ないが、雨漏りのリスクがある
 - ・屋根と壁の接合部に雨漏りのリスクがあるので雨仕舞をしっかりと行う必要がある

編集後記



ami

今年もあと少しですね。みなさんはどんな1年を過ごされましたか？私は新聞の作成も中々進まず、バタバタした1年でしたが、現場でお手伝いさせてもらう機会があり、とても勉強になりました。これを読んで下さる皆様にはお待たせしてばかりで本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです(;_;)今年も一年ありがとうございました。あったかくして良い年をお迎えください<(_ _)>

